

日本古代官制関係研究文献目録（稿）

凡例

2017/10

- 本文献目録は、明治大学日本古代学研究所が作成・公開予定の「杉原荘介・岡正雄・井上光貞資料データベース」（仮）（*1）のうちの、「井上光貞資料（令集解）」（*2）に関わる補助的な研究ツールとして作成したものである。
- 本目録の収録対象は、職員令を基礎に、官司制全般および職員令篇目に関するものと、中央官司（二官八省一台五衛府）に関するものとする（地方官、令外官、所などは、令制官司に係る範囲で収録する）。
- 個々の官司に関する文献の収録基準については、官司の職掌・人員構成等に言及しているものに限る。
- 本目録は、今後引き続き順次補訂・追加を行い、順次古代学研究所ホームページおよび紀要誌面にて公開する。

*1 明治大学日本古代学研究所を拠点とする、私立大学戦略的基盤形成支援事業「日本古代学研究の世界的拠点形成」（研究代表者：石川日出志〔明治大学文学部・教授〕）では、明治大学所蔵の研究資料群（杉原荘介・岡正雄・井上光貞コレクションなど）の活用のため、三者の関連資料および日本文学関係古典籍等を公開するデータベースを創設し、公開に向けて準備を進めている。

*2 「井上光貞資料（令集解）」は、生前井上氏が計画していた『令集解の研究』の刊行のため、山川出版社に保管されていた資料群をいう。『令集解の研究』は、養老令の注釈書として平安時代に編纂された『令集解』の令文ごとに関連史料や語釈を施した、『令集解』の注釈書である。しかしながら、井上氏の急逝により、未刊行のまま今日に至っている。

※本目録の作成は、主として志村佳名子（明治大学日本古代学研究所・研究推進員）が担当し、鈴木裕之・里舘翔大（同・RA）が作成の補助にあたった。